SPONSORSHIP 2026

ご協賛のお願い

Under18 Developers

2026年11月

MESSAGE

ごあいさつ

Under18 Developersは、「好きなことに、年齢はいらない。」を掲げて、18歳以下の開発者が学び、作り、発信できる場をつくっている技術コミュニティです。

2026年11月には、三田学園の文化祭で LT 会を2日間開催しました。中高生の発表のすぐ隣で、研究者やエンジニア、専門学校の先生方が「自分の好きな世界」を語ってくださり、のべ80名の方に参加していただきました。

一方で、会場や配信機材、交流会の費用は、運営の持ち出しと、個人の方からのご寄付に支えられているのが現状です。中高生が年齢を理由にあきらめずに挑戦できる場を続けていくため、ご協賛をご検討いただけますと幸いです。

Under18 Developers 代表　田中博悠

01

Under18 Developersについて

ABOUT

好きなことに、
年齢はいらない。

作ることが好きな人が、年齢に関係なくつながって挑戦する技術コミュニティです。LT 会や交流会の開催、YouTube での発信、オープンソースでの開発を通じて、18歳以下の開発者が学び、作り、発信できる場をつくっています。

PRINCIPLES

大切にしていること

01

作る。

アイデアを試し、動くものとして形にする。

02

話す。

好きな技術や、自分が見ている世界を共有する。

03

つながる。

年齢や肩書きの違いを越えて、同じ興味を持つ人と出会う。

WHY SPONSOR

ご協賛の意義

挑戦の場を次の世代へ

中高生が人前で発表し、大人のエンジニアや研究者と話せる場は、まだ多くありません。ご協賛は、その場を続けるための費用になります。

これから技術者になる人たちとの出会い

会場と配信を通じて、中高生・大学生と、技術に関心のある社会人に貴社を知っていただけます。

使い道をすべて公開しています

いただいたお金の使い道は、イベントごとに Web サイトの会計報告で公開しています。

02

これまでの活動

TRACK RECORD

開催実績

	知らない世界の話をしよう 2026	知らない世界の話をしよう Day 2
日程	2026年11月2日（月）	2026年11月3日（火・祝）
会場	私立三田学園中学校・高等学校（文化祭）	私立三田学園中学校・高等学校（文化祭）
形式	ジャンル不問の LT 会、パネルディスカッション	学生による LT、中高大のパネルディスカッション、交流会
規模	参加 60名・登壇 20名	参加 20名・登壇 6名
開催	地域コミュニティ 三田.dev と共同開催	GDGoC Kobe University と共催

公式サイト：sglt.under18.dev　配信アーカイブ：YouTube（Under18 Developers）　レポート：under18.dev/events/

SPEAKERS

中高生から研究者まで25名が登壇

大学院大学の准教授（VR・ロボットインタラクション）

国立研究開発法人の研究者（ネットワーク・セキュリティ人材育成）

経済産業省の職員（フィジカル AI）

Google Developer Expert（Google Cloud）

専門学校の教員（ゲーム・eスポーツ・アニメ）

Web 小説家

ブロックチェーンの開発者・研究団体の共同創業者

OSS の開発者・システムエンジニア

大学・大学院の学生（GDGoC Kobe University）

中学生・高校生

登壇者の一覧：under18.dev/speakers/　登壇の一覧：under18.dev/talks/

03

これからの開催予定

NEXT EVENT

クリぼっち Meetup 2026

日程	2026年12月24日（木）18:30〜21:30
会場	東京都内（決まり次第お知らせします）
定員	現地 30名・LT 登壇 10名・お布施枠 10名、オンラインは定員なし
参加費	無料（お布施枠のみ 2,000円の寄付）
内容	LT 大会、エピソードトーク、軽食を囲んだ交流会
配信	YouTube Live

2026年度は、このほかにも LT 会や交流会を開催していきます。決まり次第 under18.dev/events/ でお知らせします。

04

これから取り組みたいこと

WHY

行きたいイベントがあるのに交通費が出せない

技術カンファレンスや勉強会は都市部に集中しています。参加費が無料でも、地方の中高生には新幹線や飛行機の費用が大きな壁です。交通費を支援する仕組みはあっても、対象が大学生以上や19歳以上に限られることがあります。

OUR DREAM

いつか実現したい学生エンジニアの交通費支援

18歳以下の開発者が遠くのイベントにも行けるように

技術力や実績よりも、興味と挑戦する意欲を大切にして、初心者も応援したいと考えています

自分たちのイベントに限らずに

実際に開催されている、信頼できる技術カンファレンスや勉強会、ハッカソンへの参加と登壇を支えたいと考えています

続けられる形で

一度きりの補助ではなく、1年を通して何度でも挑戦できる仕組みにしたいと考えています

まだ構想の段階で、開始の時期や支援の内容は決まっていません。

HELP US

私たちだけではまだ実現できません

お金を預かって管理したり、支援の約束に責任を持ったりすることは、今の私たちにはまだ難しいのが正直なところです。それでも、いつか必ず形にしたいと思っています。

01

仕組みづくりへの知恵

お金の管理や、公平な選び方、安全の確保について、経験のある方のご助言をいただきたいです

02

一緒に支えてくださる大人の協力者

会計や契約など、私たちだけでは担えない部分を一緒に支えてくださる方を探しています

03

始めるための資金

この取り組みに使途を指定したご寄付・ご協賛も、ご相談ください

05

ご協賛について

PLANS

2つの協賛の形

年間協賛

1年間の活動全体を支えていただく形です。期間中に開催するすべてのイベントで、下の特典をご用意します。

イベント協賛

特定のイベントを支えていただく形です。そのイベントで、下の特典をご用意します。

協賛金額は、ご予算や特典の内容に合わせてご相談のうえ決めさせてください。物品やサービスでのご協賛や、学生の交通費支援に使途を指定したご協賛も歓迎しています。

BENEFITS

協賛の特典

ロゴの掲載	Web サイトの支援ページと、イベントページの「スポンサー」タブに、貴社のロゴとリンクを掲載します
会場・配信でのご紹介	オープニングで貴社をご紹介し、開始前・休憩中の待機スライドにロゴを掲載します
スポンサー LT 枠	イベントの中で、貴社の取り組みや技術を紹介していただける発表の枠をご用意します
資料・ノベルティの配布	会場で、貴社のチラシやノベルティを参加者にお配りします

特典はいずれも任意です。不要な特典があればお知らせください。発表の時間や配布物の大きさは、イベントの規模に合わせてご相談します。

TRANSPARENCY

ご支援の使い道と公開の方針

主な使い道

会場費、マイク・カメラなどの配信機材、イベントの運営ツール、ノベルティ・軽食

会計報告

収入と支出をイベントごとにまとめ、under18.dev/reports/ で公開しています

掲載の方針

協賛企業・団体のお名前は、掲載のご了承をいただいた場合にだけ掲載します。個人の方からのご寄付は、金額と件数だけを掲載します

OTHER WAYS

協賛のほかの支え方

物品・サービスのご提供

機材、ノベルティ、開発ツールのライセンスなど

会場のご提供

学校や企業のスペースでの開催を歓迎しています

登壇・メンター

現役のエンジニアや研究者の方の登壇や、相談役としての参加

共催

学校・学生団体・地域コミュニティと、イベントを一緒に企画・運営

PROCEDURE

お申し込みの流れ

01

お問い合わせ

Web サイトのフォームから、協賛の形（年間・イベント）とご希望をお送りください

02

内容のご相談

金額と特典の内容を、ご予算やイベントに合わせて決めます

03

お支払い

請求書・領収書の発行とお支払いの方法を、個別にご相談します

04

ロゴのご提出・掲載

ロゴや配布物をお送りいただき、Web サイトとイベントで掲載します

ご契約や請求書のやり取りの方法はご相談のうえ決めさせてください。当団体は適格請求書発行事業者ではないため、適格請求書（インボイス）は発行できません。

THANK YOU

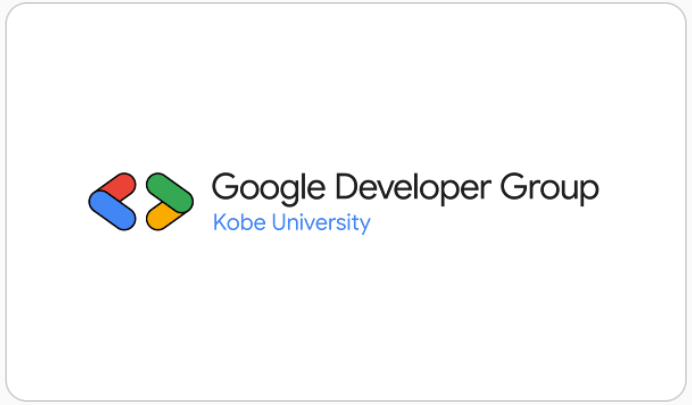
これまでご支援いただいた皆さま



協賛　GDG Greater Kwansai



協賛　一般社団法人 Greek Alphabet Software Academy



共催　GDG on Campus Kobe University

CONTACT

ご検討を
よろしくお願いいたします

お問い合わせ	under18.dev/support/ のお問い合わせフォーム
Web サイト	under18.dev
X	@under18dev
connpass	under18dev.connpass.com